

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月17日

【評価実施概要】

事業所番号	270500507		
法人名	有限会社博愛会		
事業所名	グループホーム毘沙門		
所在地 (電話番号)	〒037-0096 青森県五所川原市毘沙門字上熊石113-18 (電話) 0173-37-2423		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 2月 19日	評価確定日	平成 21年 3月 17日

【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 11月 21日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	10人, 非常勤 0人, 常勤換算 1人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	5,000 円	その他の経費(月額)	3,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	78 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	清水クリニック、かねひらクリニック、中嶋歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

毘沙門駅を隔てたところに位置しており、広い敷地では畑を作っている。建物内は明るく、共有空間はゆったりと過ごせるよう家具が配置されている。入居者一人ひとりの生活歴を活かし農作業を行ったり、食事の後片付けを一緒に行うなど家庭的な雰囲気があり、その人らしい生活が送れるよう支援されている。家族の面会時には状態報告する他、要望の聞き取りがされており、サービスの質の向上に活用している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域密着型サービスとしての役割を取り入れた理念を作り上げ、支援に活かされている。栄養面については栄養士に献立のチェックを依頼し、毎月の体重測定の実施と合わせながら入居者の健康管理に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回は自己評価を職員全員で実施している。日々の支援について振り返る機会になったと実感しており、課題については取り組みする予定であるとのこと今後に期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、利用者の状況や各マニュアルの作成について報告している。運営推進会議が報告する場となっている為、行政・家族・地域からの意見をくみ取り、サービスの向上に活用できるよう期待する。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会時や入居費の支払時に状態報告がされている。状態変更時は随時電話連絡をしている。事業所内には意見箱を設置し、契約時に苦情受付についても説明がされている。また、面会時に意見や要望の聞き取りに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホーム近辺の散歩を通して、近所の方との交流に努めている。夕涼み会の開催時には、チラシを配布し参加を働きかけている。町内会には入っていないが、農作業を通じて指導を受けたり、農作物の差し入れを頂いたりしている。管理者の知り合いを通じて、踊りの訪問の受け入れをしている。地域住民が日頃から行き来できるように、また事業所が地域で必要とされる活動・役割の理解を深められるよう働きかけが望まれる。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念を見直し、地域密着型サービスの意義を取り込んだ、事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホールに掲示しており、管理者は折に触れて重要性を説明し理念の共有に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近くのお地藏様まで散歩をし、近所の方と声掛け合ったり、夕涼み会の開催時には、チラシを配布し参加を働きかけたりして、交流に努めている。町内会には入っていないが、農作業を通じて指導を受けたり、農作物の差し入れを頂いたりしている。年2～3回知り合いを通じて、秀純会の踊りの訪問の受け入れをしている。		地域から孤立することのないよう、また日頃から地域住人が行き来できるように地域住民に事業所が地域で必要とされる活動・役割の理解を深められるよう働きかけが望まれます。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は、職員全体で話し合い評価している。前回の評価結果を踏まえ、改善に向けて検討し実践につながるよう努力している。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、利用者の状況や各マニュアルについて報告している。不参加の方々には会議の内容を文書にし、送付している。</p>		<p>運営推進会議が報告する場となっているため、行政・家族・地域からの意見をくみ取り、サービスの向上に活用できるよう期待します。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>何かあれば相談し、アドバイスをしてもらっている。</p>		<p>日頃からの情報交換や地域ニーズの把握に努め、双方の協働関係の確立や連携したサービスの提供が出来る様期待します。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>資料やマニュアルを準備し、職員に配布している。職員が勉強会を開催したり、外部研修に参加したりする機会は殆どない。</p>		<p>管理者だけでなく、職員も理解を図れるよう外部の研修等に参加されることが望まれます。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>資料やマニュアルを準備し、職員に配布している。ミーティング時に随時虐待にならないか、ケアについて確認している。</p>		<p>研修資料の活用や内部での報告会など、実践に活かせるような取組みが望まれます。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際には事前に面談し、利用者・家族の要望を把握した上で十分な説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時や入居費の支払時に状態報告している。状態変更時は電話連絡をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所内に意見箱を設置し、契約時に苦情窓口について家族に説明している。また、面会時に意見や要望の聞き取りに努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職が多く、離職を最小限に抑えるための工夫や具体的な取り組みがされていない。</p>		<p>全体で離職を最小限に出来る様取組み、また、利用者へのダメージを避けるためにも長く勤められるような環境づくりが望まれます。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員育成の年間計画等はなく、資格取得等は職員個人に任せている。働きながら学ぶ機会が少ない。		職員の質の確保・向上のためにも、職員の育成に関する具体的な方針・計画を整備されることが望まれます。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議に出席し、意見交換を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談からすぐに入居されるケースが多い為、家族から十分な情報を得た上で、入居者が安心して生活出来る様働きかけている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	趣味(和さんやお経)・農作業を通して、入居者から生活の知恵や技を教えてもらうなど場面作りがされている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>コミュニケーションを通して、家族や本人の思いや意向を把握し、一人ひとりに合わせて支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用し、家族・本人の意向もアセスメントしながら、介護計画に取り入れ作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとに見直ししている。状態変更時には、現状の計画に追加する形で随時見直ししている。家族には確認の上、サインしてもらっている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外出・通院の援助など柔軟に対応されている。家族の要望に応じて対応できる体制が整備されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医への通院を継続している。看護師が病院と連絡を取り合い、適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に重度化した時の対応について説明・確認し、同意書にサインをもらっている。重度化の対応についても、職員間で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取扱について同意を得ておりケアの際にも声掛け等に配慮している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースやその日の体調を考慮し、無理のないように支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者と共に食事の準備・後片付けを行っている。食事中は介助や見守りをするだけでなく、職員も一緒に食事を摂り、楽しく食事されていた。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の入浴と設定はしてあるが、入居者の希望や健康状態により調整しながら支援されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴を活かし、食事の準備や後片付け、農作業などの役割をもたせ、また天候に合わせ、外出・散歩など気分転換を図っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>ドライブや遠足などの年間で計画した外出の他に散歩や農作業なども行っており、希望に合わせて外出できるよう支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>資料を準備し、職員に周知徹底を図っている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵をかけることの弊害を理解しているが、ホームが線路の近くに位置していること、冬期間は暴風雪が多く危険なため、安全目的で玄関にセンサー設置し、鍵をかけている。利用者が出かけようとしている際は、職員と一緒に出かけるなど対応している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年間の訓練以外にも設定を変えて訓練を実施している。非常食を常備しており、災害時は地域住民の受入も可能である。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取量をチェックしており、毎月入居者の体重測定をして健康管理している。また、定期的に栄養士に献立のチェックをしてもらい、栄養のバランスを管理されている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを準備し、日頃から手洗い・うがいに努めると共に流行に応じて対応出来る様配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自然の採光が多く取り入れられ建物内は明るい。ホールには大きなソファが設置されており、ゆったりと過ごせるよう配慮されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者本人の使い慣れた家具が持ち込まれており、一人ひとりに合わせた配置がされている。</p>		

 は、重点項目。